

寄せられたご意見と回答(令和6年2月受付分)

令和6年2月に広聴広報課で受け付けた主なご意見と回答・処理経過について、要旨を掲載します。

なお、掲載内容はご意見をいただいた当時のものであり、現在の状況とは異なる場合があります。

1 学区域について

<input type="checkbox"/> ご意見の要旨 ■ 回答・処理経過の要旨	所管課
<p><input type="checkbox"/> 小学校の保護者会にてクラス数が1クラスになることを知り、学区域がすごく狭い気がした。このままでは今後も人数が減り、どんどん寂しい学校になってしまうのではないかと心配している。</p> <p>また、1クラスのデメリットばかり耳に入るので、メリットを知りたい。</p> <p>■ 現行の通学区域は、大田区立学校設置規則によって定めており、町会の境界を基本として、長い時間をかけて形成されてきたものである。</p> <p>通学区域の変更は、学校と地域の連携や兄弟姉妹間で指定校が異なってしまう等、その影響の範囲が非常に広いため、長期間の検証が必要になると認識しているが、今回のご意見も参考に教育委員会として通学区域のあり方について引き続き研究していきたいと考えている。</p> <p>また、一般に1学年1クラスのメリットとしては、教員の目が子どもたちにいきわたるなどが挙げられる。</p>	学務課 学事係 電話 03-5744-1429

2 区内区民センター施設内の画像

<input type="checkbox"/> ご意見の要旨 ■ 回答・処理経過の要旨	所管課
<p><input type="checkbox"/> 区内にある区民センターを利用するにあたり全ての施設で会議室・和室等の広さ収容人数のみ情報が掲載され、画像の添付がなく、選択する際に非常に不便。</p> <p>■ 今後は、利用者にとって分かりやすい施設案内となるよう、掲載内容について改善に努めていく。引き続き、施設サービスの向上に努めていく。</p>	地域力推進課 区民施設担当 電話 03-5744-1229

3 観光案内所

□ ご意見の要旨 ■ 回答・処理経過の要旨	所管課
<p>□近年インバウンドによって外国からの観光客が大森駅周辺にも多い印象がある。働いていると観光客から道を尋ねられることも多く、満足に案内できているか不安になることがある。そのため、大森駅周辺に観光案内所をつくってほしい。もしくは、外国人向けの案内アプリなどがあると助かる。</p> <p>■ご指摘のとおり 2023年11月の羽田空港国際線外国人旅客数は新型コロナウイルス感染症拡大前の2019年同月の水準を上回っており、インバウンド需要の回復が顕著である。大森駅周辺にも多くのホテルなどが点在し、インバウンドの宿泊も増加しており、今後、インバウンド対応への困りごとがあれば京急蒲田ウイングキッチン内にて開設している大田区観光情報センターへお問合せいただきたい。</p> <p>当施設は平成27年12月に開設以降、区内の観光情報に加え、鉄道フリーパスの購入方法や都内をはじめ周辺自治体の観光地への案内業務など多岐に渡ってインバウンド対応を行っている。午前9時から午後9時まで年中無休で営業し、英語をはじめとする多言語対応可能なスタッフが常駐している。（年末年始などは時間を短縮して営業している。）</p> <p>大田区観光情報センター 電話：03-6424-7288 URL:https://tokyoactivity.com/ja/</p>	<p>産業振興課 観光担当 電話 03-5744-1322</p>